

NCLS® モニター

急変対応シミュレーション用 患者モニター

iPad を患者モニターに。iPhone を講師のリモコンに。

「血圧 80 です」と口頭で伝える研修から、受講者が自分でモニターの異常に気づく研修へ。高額な設備も、複雑な準備も必要ありません。

35 種類

心電図リズム。除細動・同期電気ショック・経皮ペーシングも操作できます

43 症例

電子カルテ風の症例。病棟別を選び、講師用の振り返り資料つき

1 分

準備時間。Wi-Fi ルーターもインターネットも不要で、端末どうしが直接つながります



対象：院内教育担当者・看護教員・急変対応研修の指導者 / 対応端末：iPad・iPhone (iPadOS・iOS 15 以降) /
無料版あり

「知らされる」から、「気づく」へ。

簡易的なシミュレーションでは、患者の状態を講師が口頭で伝えることになります。しかし臨床では、誰かが異常を教えてくれるわけではありません。



この構造では、受講者は「気づく」工程を飛ばして「対応」から始めることになります。現場でつまづくのは、多くの場合その手前です。NCLS モニターでは、講師が手元の iPhone で操作すると、受講者の前にある iPad のモニターが実際に変化します。臨床と同じ順番で練習できます。

見る	気づく	評価する	判断する	行動する
モニターに目を向け、表示を読み取る	いつもと違うと感じ、変化に反応する	患者のもとへ行き、他の情報も確認する	何が起きているか、何が必要かを考える	応援を呼び、報告し、処置に入る



講師：iPhone のリモコン。リズム・バイタル・状況プリセットを手元で

高機能シミュレーターとの位置づけ

高機能シミュレーターの置き換えではありません。「大がかりな設備を出すほどではないが、口頭だけでは物足りない」という研修の間を埋める選択肢です。

	口頭中心	NCLS モニター	高機能シミュレーター
導入価格	ほぼ不要	アプリ内課金のみ	数十万～数百万円
準備・設営	不要	端末を起動するだけ	運搬・配線・設定
モニターから情報収集	講師が伝える	受講者が読む	受講者が読む
圧迫の深さ等の計測	不可	不可	可
日常の研修で	いつでも	病棟でも研修室でも	予約・移動が必要

※ 一般的な傾向を示したもので、個別の製品・運用により異なります。

その機能で、どんなシミュレーションができるか。

心電図 35 種類	洞調律から VF・無脈性 VT・心静止、房室ブロック各型、ST 上昇まで。心拍数は R 波間隔から実測。→ 数値を鵜呑みにせず波形と患者を確認する習慣づけ
バイタル	心拍数・血圧・SpO ₂ ・呼吸数・体温をリモコンのスライダーで連続的に変更。急変前の緩やかな悪化から心停止まで途切れずに。→ RRS 起動基準の判断、急変予兆の察知
数値を隠す／センサー装着制	項目ごとに非表示にできます。電源を入れただけでは何も表示されず、SpO ₂ はプローブを着けてから、血圧は測ってから表示。→ 何を測りに行くかを考えさせる初期評価
除細動・経皮ペーシング	ダイヤルの並びは実機の除細動器と同じ（切・モニタ・AED・内部放電・エネルギー・ペーシング）。同期電気ショックは R 波を検出してから放電。ペーシングは 0 mA から上げて捕捉を確認。→ 手順の定着、電気的捕捉の判断、SYNC の理解
AED モード（音声ガイド）	ダイヤルを AED に合わせると、パッド装着・解析・ショック・CPR と音声で進み、2 分ごとに再解析。日本語・英語・スペイン語。→ BLS 研修、病棟スタッフの一次対応
呼吸音・心音・瞳孔	呼吸音 6 種類、心音 6 種類（心電図の拍に同期）、瞳孔所見 6 種類（ペンライトで対光反射）。→ フィジカルアセスメント演習
患者カルテ 43 症例	医師記録・看護記録・検査・画像・指示まで実際のカルテと同じ形。受講者の病棟で絞り込み、症例を選ぶだけで「異変が始まった時点」のバイタルがモニターに入ります。各症例に講師用の振り返り資料（病態と判断・期待する行動・SBAR の例・振り返りの問い）。→ 情報収集から訪室、デブリーフィングまで一連で
検査	12 誘導心電図（梗塞部位を選択、自動解析風の所見）、血液ガス 47 症例（経過つき）、胸部 X 線 5 種類、心エコー 3 種類。
その他	動脈ライン・EtCO ₂ カブノグラム、状況プリセット 23 種類、小児（成人～新生児）、単位切替、イベントログの書き出し、デブリーフィング用の記録を PDF で共有。



来月の研修で、こう使う。

4本とも iPad 1台・iPhone 1台・BLS 用マネキン（または模擬患者）だけで回ります。高機能シミュレーターがなくても、二次救命処置まで通して練習できます。

A. 新人看護師向け — 30分 「カルテを読んで、訪室して、報告する」

- ① 受講者に iPad のカルテを 5分読ませる（例：術後 1日目、COPD あり）。何を観察しに行くかを考えさせる
- ② 訪室。モニターは SpO₂ 90%・呼吸数 28 の状態。受講者が気づき、評価を始める
- ③ 聴診で coarse crackles。体位調整と酸素投与
- ④ 講師が iPhone で SpO₂ を回復させる／させない。対応の適否で経過を分ける
- ⑤ SBAR で医師役に報告
- ⑥ カルテの「振り返り」タブを開き、病態と判断・期待する行動・落とし穴を全員で確認（10分）

使う機能：カルテ症例（術後の呼吸不全）・センサー装着制・呼吸音・バイタルのスライダー・振り返り資料 / 製品版

B. BLS 研修（AED の場面） — 20分 「反応なし → AED → ROSC まで」（無料版で実施可）

- ① マネキンのそばに iPad を置き、講師が iPhone で VF にする
- ② 受講者が反応・呼吸を確認し、応援要請、CPR 開始
- ③ ダイヤルを AED に合わせ、音声ガイドに従ってパッド装着・解析・ショック
- ④ 2分の CPR 中に、講師が洞調律に戻す
- ⑤ 再解析で「ショックは不要」。脈の確認、意識の確認
- ⑥ イベントログを見ながら「CPR 開始までの時間」「ショックまでの時間」を振り返る（5分）

使う機能：VF・音声ガイド付き AED・CPR 中の波形・イベントログ / 無料版の範囲

高機能シミュレーターがなくても、ここまで。

C. 二次救命処置（ACLS / ICLS） — 40 分 「BLS 用マネキンで、除細動から薬剤・ROSC 後まで」

- ① モニター装着。受講者がリズムを読む（VF）
- ② CPR と 150 J の除細動。2 分ごとにリズムチェック
- ③ 3 回目のショック後にアドレナリン、アミオダロン（投与のタイミングをイベントログに記録）
- ④ 講師が無脈性 VT → PEA と変化させ、鑑別（H と T）を問う
- ⑤ ROSC。洞性頻脈・血圧 88/52・SpO₂ 92% の状態で 12 誘導を出し、下壁梗塞を読ませる
- ⑥ ROSC 後のケア（酸素・血圧・体温管理）を SBAR で報告。イベントログで時間経過を振り返る（10 分）

使う機能：VF・無脈性 VT・PEA・除細動（回数制限なし）・同期電気ショック・12 誘導・イベントログ / 製品版。マネキンは BLS 用のもので足りる

D. フィジカルアセスメント研修 — 30 分 「聴診・瞳孔・バイタルから病態を推理する」

- ① 受講者には「息苦しさを訴えている」とだけ伝える。モニターは数値を隠した状態
- ② SpO₂ プロブを着けて 91%、血圧を測って 150/95。何を測りに行くかを受講者が決める
- ③ 聴診で wheeze（または coarse crackles）、心音で III 音
- ④ 瞳孔は正常、意識清明
- ⑤ 「心不全か、喘息か」をグループで議論し、血液ガスと胸部 X 線を開いて確かめる
- ⑥ 講師が数値を表示して答え合わせ。カルテ症例の振り返り資料で病態を整理（10 分）

使う機能：数値を隠す・センサー装着制・呼吸音・心音・瞳孔・血液ガス・画像・カルテ症例 / 製品版。マネキンは模擬患者（受講者）でも可

こんな研修で使われています

院内急変研修（病棟でそのまま、夜勤帯の短時間研修にも） / 新人看護師教育（読み取り→報告→応援要請） / RRS・RRT 教育（起動基準に触れる値を連続してつくる） / BLS・ACLS・ICLS（リズムチェック、除細動、同期電気ショック） / 看護学校・看護系大学（演習室に複数台、学生グループごとに 1 台） / OSCE（数値を隠した課題設定）

まず無料で試して、納得してから。

個人で使う — NCLS モニター（無料版）

¥0 ダウンロード無料

心電図 4 種類（正常洞調律・VF・無脈性 VT・心静止）、除細動（1 シナリオ 2 回まで）、音声ガイド付き AED（回数制限なし）、iPhone リモコン、バイタル操作。病棟の勉強会や BLS 研修の AED の場面はこの範囲で実施できます。

¥19,800 税込・買い切り（アプリ内課金）

2026 年 10 月 20 日より ¥29,800 に改定します。10 月 19 日までのご購入は現価格のまま、以後のアップデートも追加費用なくご利用いただけます。

¥2,980 / 月 税込・自動更新（初月 ¥980）

研修が年に数回だけの方向け。買い切りと同じ全機能を 1 か月単位で。解約後の請求はありません。

施設で配る — NCLS モニター Pro

¥19,800 / 台 税込・買い切り（有料アプリ）

2026 年 10 月 20 日より ¥29,800 / 台。教育機関は 20 本以上のご購入で 50% 引き。

最初から全機能が入った別アプリです。Apple School Manager / Apple Business Manager の一括購入に対応し、管理対象の iPad にまとめて配布できます。無料版のアプリ内課金は一括購入の対象外のため、施設の iPad には Pro をお選びください。

ライセンスの考え方

ライセンスは iPad 1 台につき 1 本です。操作する人数（講師・受講者）に制限はありません。1 台を複数の講師で共有してお使いいただけます。

見積・請求書払い

見積書・請求書払い・複数台の配布方法のご相談は、お問い合わせフォームから承ります。台数と納期をお知らせください。

Apple Business Manager / School Manager での購入手順

- 1 ABM / ASM に施設のアカウントでサインインし、「App とブック」で「NCLS モニター Pro」を検索
- 2 台数を入力して購入（教育機関は 20 本以上で割引が自動適用）。支払いはクレジットカードまたは VPP クレジット
- 3 MDM（Jamf、Intune、Apple Configurator など）でライセンスを端末に割り当て。Apple ID のサインインは不要
- 4 端末を入れ替えるときは、ライセンスを回収して新しい端末に再割り当て

※ 価格はすべて税込。App Store の価格は為替・Apple の価格表により変動する場合があります。NCLS テキストに記載の価格は

2026 年 9 月時点のものです。
NCLS® モニター 導入検討用資料

動作環境

対応端末	iPad / iPhone (iPadOS・iOS 15 以降)
推奨構成	iPad をモニターとして受講者の前に、iPhone を講師の手元のリモコンとして。1 台だけでも全機能を使えます
通信	端末間の直接通信。Wi-Fi ルーター・インターネット接続は不要（端末の Wi-Fi・Bluetooth はオンにし、ローカルネットワークの利用を許可してください）。院内ネットワークへの接続や設定変更は不要です
外部モニター	HDMI アダプタや AirPlay で大画面に出力できます
言語	日本語・英語・スペイン語（ホーム画面で切替。AED の音声も言語に合わせて変わります）
ライセンス	買い切り、または月額プラン（自動更新）。施設向け Pro 版は有料アプリ。いずれもアップデート無料
取扱説明書	https://codeblue.co.jp/monitor/manual/ （接続の手順・機能の使い方）

本アプリは教育・訓練専用のシミュレーターです。医療機器ではありません。実際の患者モニタリング・診断・治療の判断には使用できません。表示される波形・数値は、すべて訓練用に生成された模擬データです。

提供元

会社名	株式会社コードブルー（Code Blue Co., Ltd.）
事業	看護師向け急変対応研修「NCLS®（Nursing Cardiac Life Support）」の運営、AHA-ACLS コースの開催、急変対応セミナー、シミュレーション教材の開発
開発の経緯	NCLS コースのシミュレーションで講師自身が必要としてつくりました。 NCLS コースの受講実績は 1,500 名以上（2026 年 9 月 1 日現在。アプリの導入数ではありません）。診療看護師（NP）／元 救急看護認定看護師である代表が監修し、研修で使いながら必要な機能を足し、余計なものを削ってきました
Web	https://codeblue.co.jp/monitor/ （英語版： https://codeblue.co.jp/monitor/en/ ）
お問い合わせ	https://codeblue.co.jp/inquiry/ （見積書・請求書払い・導入のご相談）

NCLS は Code Blue Co., Ltd. の登録商標です。iPad、iPhone、App Store は Apple Inc. の商標です。本資料の内容は 2026 年 10 月時点のものです。